

第 120 回 BA エグゼクティブサロン概要

<テーマ>「高精度測位サービスが創る未来 ～準天頂衛星みちびきの運用開始に向けて～」

<講師>磯 尚樹 (いそ なおき)

株式会社NTTデータ 第一公共事業本部 e-コミュニティ事業部
第三ビジネス統括部 第三営業担当 部長

<略歴>

平成 7 年 (1995 年) NTT データ通信株式会社 (現:株式会社 NTT データ) 入社。防災情報システムや地理空間情報システムの設計・開発を担当した後、地球観測衛星によるリモートセンシング活用や衛星測位等による位置情報を活用した各種サービス提供・システム開発事業を推進。

QBIC (高精度衛星測位サービス利用促進協議会) の海外展開 WG リーダを務める

<卓話概要>

2018 年 4 月より日本の測位衛星である準天頂衛星みちびきが運用開始されます。これにより、まず日本国内において、測位衛星からの信号のみで数 cm の位置情報精度が得られることとなり、自動車、農機、ドローン等の自動運転への活用など、様々なサービスの創出を促す社会基盤となることが期待されています。また、グローバルに均一なサービスが提供できる宇宙技術を利用した日本発のインフラであることから、その利活用は、アジア・太平洋地域へのサービスを中心とする国際展開も期待されます。

一方で、ロケーションサービスの観点では、東京オリンピック・パラリンピックが開催される 2020 年に向けて、訪日外国人は増え続けていく中、スマートかつ安心・安全に滞在を楽しんでいただくための移動支援が課題となっており、その解決にあたっては、屋内外シームレスな測位環境や、高精度な位置情報とひもづけられた IoT デバイスにより、ヒト、クルマ、モノの動きに関するビッグデータを収集、AI によって解析・活用していくかが重要なポイントであり、こうした新技術を活用した様々なサービスの創発も期待される場所でもあります。

本講演では、準天頂衛星みちびきの運用開始を控え、高精度位置情報サービス利活用が一層見込まれる中、これまで取り組んできた事例やサービスをご紹介しますとともに、今後の期待と課題について解説します。

(以上)